岡山市
OKAYAMA CITY

食品ロス、を削減するために※

食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

©ろすのん



食品ロスって何？

「食べることができる」のに捨てられている食品461万トン。それらは生ごみとして捨てられています。

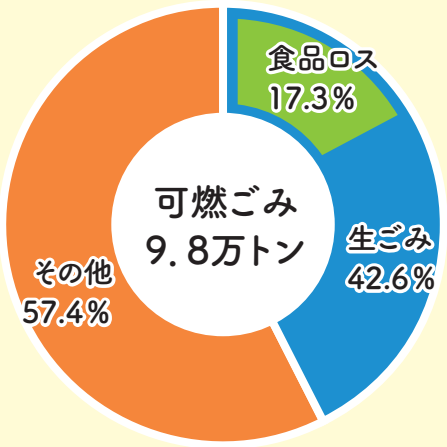
年間の食品ロス量461万トンのうち	主な理由
企業237万トン	売れ残り、余剰在庫、返品、規格外
家庭224万トン	消費・賞味期限切れ、食べ残し、過剰除去

※出典：農林水産省及び環境省「令和6年度推計」

なんと食品ロスの約49％は一般家庭から！

家庭の岡山市の食品ロスはどれくらい？

可燃ごみ（家庭系）



※出典：令和6年岡山市家庭ごみ組成分析調査結果

岡山市 可燃ごみ（家庭系）

9.8万トン×17.3%
＝ 約1.7万トン

なんと市民1人
1日あたりお茶碗
半分（約67g）！



※令和元年10月1日「食品ロスの削減の推進に関する法律」施行
その中で、国民も食べ物を無駄にしない意識の定着と、まだ食べることができる食品については、廃棄することなく、できるだけ食品として活用するようにしていくことが明記されています。

食品ロスを減らすとは？ ～もったいないのこころ～

使い切れず捨ててしまう
使い切るために
作りすぎてしまう

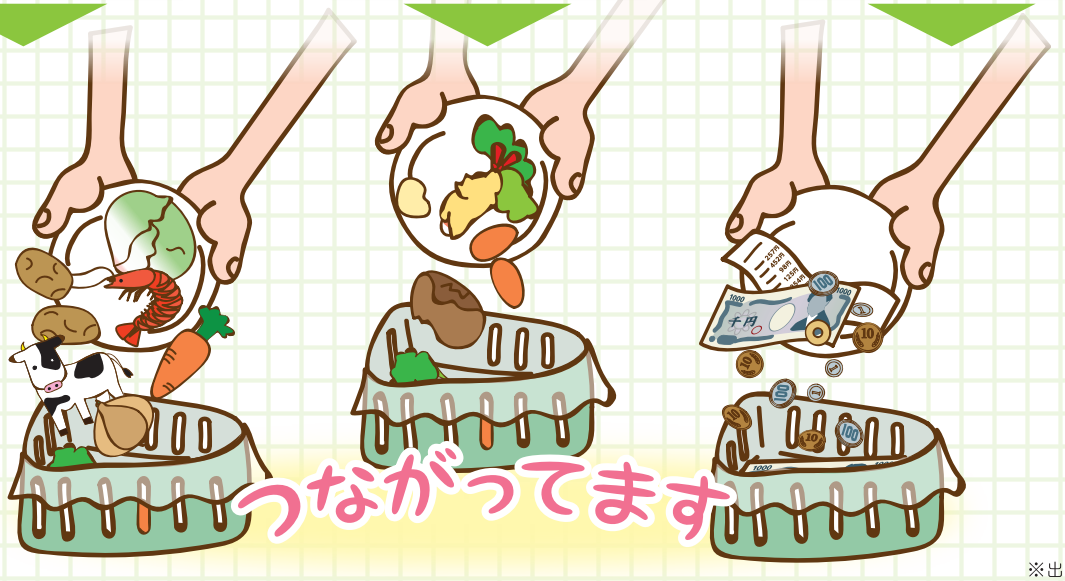
余計な買い物を
しない

作りすぎて
もったいないけど
食べきれない

食べ残しをしない

ガス代・水道代・電気代
がかかる

作りすぎない



※出典：消費者庁

食品を捨てることは、ごみを捨てているのではなく、お金を捨てているようなものです。お金を捨てるのをやめることで結果的にごみの量の削減につながります。

余計なものを買わない
↓
家庭の節約術

ごみを減らすポイントは？ ～3きり運動～

① 使いきり！

捨てる前にリメイクして食べることで、食品ロスを減らすことができるよ



② 食べきり！

食べ残しをしないように、作りすぎない食べきれる量を心がけよう



③ 水きり！

捨てる前に、ひとしぼりすることで、生ごみを減らすことができるよ



最後は **ダンボールコンポスト** に挑戦！



食品ロス削減のため、身近なところからできることを始めていきましょう！

日常生活での取り組み ～家庭でできること～

1 買い物は必要に応じて

買い物の際の一工夫で食品ロスを削減

必要な食品を、必要な時に、必要な量だけ購入しましょう。
すぐ食べる食品を購入するときは賞味期限が近い商品を積極的に選ぶ「てまえどり」をしてみませんか。
「てまえどり」をすることで期限切れで廃棄される食品を減らす効果が期待できます。

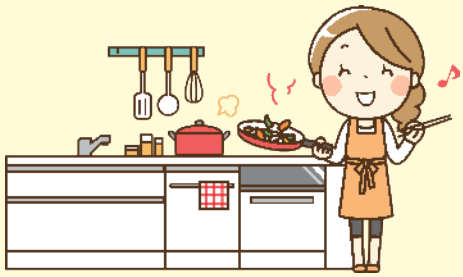


2 料理は食べられる量にする

調理で作りすぎない／余ったら作り替える

もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくは下記URLへ
食品ロス削減のための簡単エコレシピ！

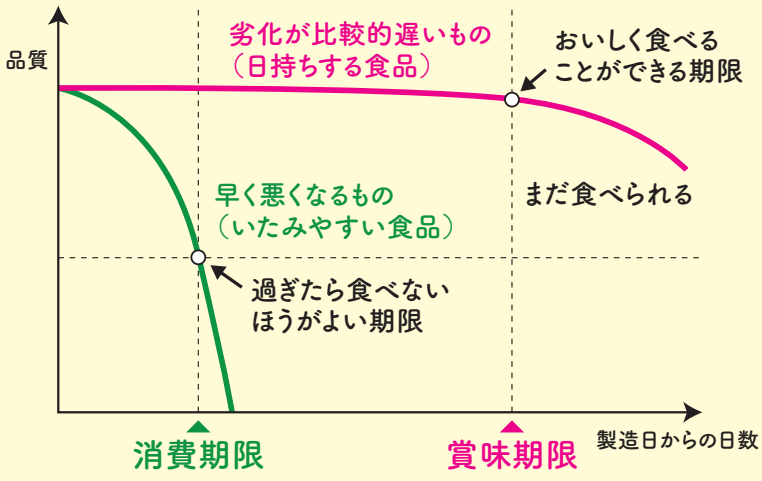
岡山市　エコレシピ　検索



3 実は、まだ食べられる?

食品の期限表示は、「消費期限」と「賞味期限」の２種類があり、いずれも開封していない状態で表示されている保存方法で、保存した場合の期限が表示されています。
消費期限（いたみやすい食品）は、「食べても安全な期限」、賞味期限（いたみにくい食品）は、「おいしく食べることができる期限」です。賞味期限は、過ぎてもすぐに廃棄せずに自分で食べられるかどうかを判断することも大切です。

消費期限と賞味期限のイメージ



※出典：消費者庁

岡山市資源循環サイト　はるもにあ



岡山市では、環境に配慮した持続可能な「資源循環型社会」の実現に向けた取り組みを進めています。
本サイトでは、食品ロスを減らすための取り組みなどを紹介しています。
一緒に環境にやさしい暮らしを始めませんか？

岡山市　はるもにあ　検索

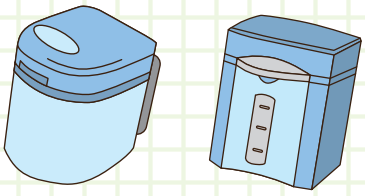
生ごみリサイクルで減量 ～生ごみ堆肥化～
一戸建てでもマンションでも、一家に一台コンポスト

ダンボールコンポスト

岡山市はダンボールコンポストセットを無償配布し、活用後の土を回収、農園で活用し、花・野菜を栽培する「桃太郎のまち岡山コンポスト」事業を行っています。

コンポスト※1　**電気式生ごみ処理機※2**





生ごみ処理容器購入費補助制度があります。

購入費（税込）の半額で上限3千円（※1）と上限3万円（※2）の補助金制度があります。

SDGs（エスディージーズ）について ～世界的な流れ～

「SDGs（エスディージーズ）」とは、
「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、
2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

12 つくる責任 つかう責任

その中で、「ターゲット12.3」は2030年までに小売り・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。とあります。

お問合せ
岡山市環境局環境部環境事業課　資源循環推進室
岡山市北区大供一丁目1番1号　TEL：086－803－1321